

図書館だより 12月号



今年も残すところあとわずかとなりました。この一年間を振り返ってみて、どれくらい本を読みましたか？冬休み中に一冊は本を読んでみましょう。特に3年次生はまもなく卒業です。最後に図書館で本を借りて読んでみませんか？

冬休みの開館日

12/21 (火) ~ 12/28 (火)

開館時間

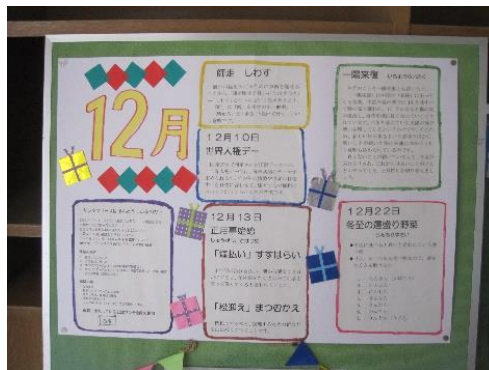
9:00 ~ 12:30

※ 借りる時

貸出簿に記入する。

※ 返す時

返却ボックスに入れて、貸出簿に返却日を記入する。



【新任の先生より】

英語科 菊池 希 先生

私は小さいころから本を読むことが好きです。本屋さんに行ったときに、タイトルだけで本を選んで買うこともあります。その中でも何度も繰り返し読んでいるのが『星の王子さま』です。よく知られている作品なので、名前を聞いたことがある人は多いと思います。でも、実際に読んだことがある人は意外と少ないのではないのでしょうか。童話と思われがちですが、子どもを卒業してしまった人にこそおすすめしたい一冊です。

この本は、砂漠に不時着した孤独な飛行士と、「ほんとうのこと」しか知りたがらない純粋な王子さまとの触れ合いを通して、年を重ねるにつれて、いつの間にか失くしてしまったものを思い出させてくれるような小説です。

物語に登場する「権力」「人気」「快樂」「財力」「労働」「学問」に執着する大人達との出会いは、ほんとうに大切なものに、地球の生き物達との出会いは、ほんとうの繋がりに気付かせてくれます。心に残る言葉も多いので、お気に入りの一言を見つけてみてください。



〔図書委員おすすめの本〕

『5分後に意外な結末』



「父の時給」

男は、妻と5歳になる息子の三人で暮らしていた。男は仕事で残業続き。自宅に帰り着くのはいつも深夜だった。

その日も男はいつもどおりの遅い時間に帰宅した。しかし、家の中の様子はいつもと違っていた。パジャマを着た息子が待っていたのだ。男は息子の頭をなでたあと、その手を引いて寝室に連れて行こうとした。すると息子は思いもよらないことを言い出した。1時間働いたらいくらもらえるのかを聞いてきたのだ。

息子はこのことを聞いて、果たして何をしようとしているのか？

続きの気になる人は、ぜひ読んでみてください。

〔11月 月間図書貸出冊数〕

〈クラス別〉

11月1日～11月30日

1-1	1-2	1-3	2-1	2-2	2-3	3-1	3-2	3-3
0冊	5冊	0冊	16冊	10冊	1冊	17冊	16冊	15冊

〈個人別〉

1位 10冊 東海林 茉莉 (2-2)

2位 8冊 前田 結衣 (2-1)

3位 5冊 菅原 璃空 (2-1)



11月は、3年次生の本の貸出が増えました。今月も新しい本が図書館に入ります。皆さんのリクエストに応じて購入した本もあります。1月号で紹介したいと思いますが、ぜひ図書館に来て自分の手に取ってみてください。

借りた本の返却をお願いします！

心にとっての読書は、身体にとっての運動と同じである。

リチャード・スティール (アイルランドの作家/1672-1729)